片桐　直人

高等司法研究科・教授

[研究]

令和7年度も財政・宗教の2分野を中心に研究を推進し、共編著書1本、書籍の分担執筆論文3本、論文4本を公表した。中国政法大学の招待により、講演を行なった。このほか、令和8年度に公表が予定されているものとして、書籍の改訂2件、書籍の分担執筆3本、論文1本を脱稿済みである。　なお、財政法研究については令和7年度に科研費基盤Bが採択され、研究代表者として研究を推進している。また、新聞社の求めに応じてコメントを出すなど、アウトリーチ活動にも力を入れた。

[教育]

高等司法研究科開講科目として憲法基礎1、憲法演習、連携講義憲法発展演習、導入演習、法学部開講科目として特別講義比較憲法理論、全学共通科目として日本国憲法を担当した。このうち憲法基礎1は優秀教員として表彰された。

高等司法研究科における未修者教育の取り組みは、各方面で注目され、他大学のFD講演会に招待されるなどした。

[管理運営]

高等司法研究科教務委員長、財務室長として活動し、CBT試験導入、合理的配慮対応などを行なった。

全学教育課程委員会、内部質保証専門部会についてそれぞれ委員を務めた。

[社会貢献]

内閣府規制改革推進会議専門委員を務めた。高槻市行政不服審査会委員、奈良県個人情報保護審査会委員(副会長)、大阪府情報公開審査会委員、大和高田市行政不服審査会委員(会長)を務めた。

法科大学院協会カリキュラム等検討委員会未修者基礎教育検討小委員会委員長を務めた。

財政総合政策研究所上席客員研究員を務めた。

宗教法学会理事、日本財政法学会理事を務めた。

[特記事項]

高等司法研究科20周年記念の会について広報、会費徴収等の事務を行なった。